

△の数	訂	正	記	事	担当	検図	年月日	△の数	訂	正	記	事	担当	検図	年月日
△							..	△							..
△							..	△							..
適用規格															
定 格	使用温度範囲	-40℃ ~ 90℃				保存温度範囲	-40℃ ~ 90℃								
	電 力	— W				特性インピーダンス	50 Ω (~ Hz)								
	特 殊 性	—				適合ケーブル	—								
						使用湿度範囲	0 ~ 90%								
性 能															
	項 目	試 験 方 法				規 格				Q T	A T				
構 造	外觀、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。				図面と合致していること。				○	○				
	表 示	目視にて確認する。								—	—				
電 氣 的 性 能	接 触 抵 抗	DC 10 mA (DC又は1000 Hz) で測定する。				中心コンタクト 10 mΩ以下 外部コンタクト 10 mΩ以下				○	○				
	絶 縁 抵 抗	DC 100 Vで測定する。				500 MΩ以上				○	○				
	耐 電 圧	AC 200 Vの電圧を1分間印加する。				せん絡・絶縁破壊がないこと。				○	○				
	電圧定在波比	周波数 ~ Hzにて測定する。				VSWR 以下				—	—				
	挿 入 損 失	周波数 ~ Hzにて測定する。				dB以下				—	—				
	単体挿抜力	の鋼製ピンで測定する。				差込力 N以下 引抜力 N以上				—	—				
機 械 的 性 能	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。				差込力 N以下 引抜力 N以上				—	—				
	繰り返し動作	1000 回の抜き差しを行う。				① 接触抵抗： 中心コンタクト 15 mΩ以下 外部コンタクト 15 mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。				○	—				
	耐 振 性	周波数 10 ~ 500 Hz、片振幅 1.5 mm、 加速度 98 m/s ² で3 方向各 2 時間試験する。				① / μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。				—	—				
	耐 衝 撃 性	加速度 490 m/s ² 、持続時間 11 ms 正弦半波 3 方向各 3 回試験する。								—	—				
	ケーブルクランプ部の引っ張り強度	N以下の引張力をケーブル輪に加える。				① ケーブルの抜けや断線等のないこと。 ② クランプ部の破損のないこと。				—	—				
	温湿度サイクルの耐湿性	温度 25 ~ 65℃、湿度 80 ~ 96% 中に 10 サイクル (240 時間) 放置する。				① 絶縁抵抗： 10 MΩ以上 (高温時) ② 絶縁抵抗： 100 MΩ以上 (乾燥時) ③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。				○	—				
環 境 的 性 能	温度サイクル	温度 -40 → 5~35 → 90 → 5~35℃ 時間 30 → — → 30 → — 分 を10 サイクル試験する。				破損、ひび、部品のゆるみがないこと。				○	—				
	塩 水 噴 霧	濃度 5% の塩水、48 時間放置する。				はなはだしい腐食がないこと。				○	—				
備考															
						製 図	担 当	検 図	承 認	出 図					
															
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。															
注 Q T : 確認試験 A T : 製品検査 ○ : 適用項目															
HRS		ヒロセ電機株式会社				製品規格表				製品名					
HIROSE ELECTRIC CO., LTD.										E.FL-R-1					
旧 C L		図 番				製品コード				1					
C L		SLC4-130575				C L 331-0416-1				1					